



移動課題解決に向けた三重県の取組

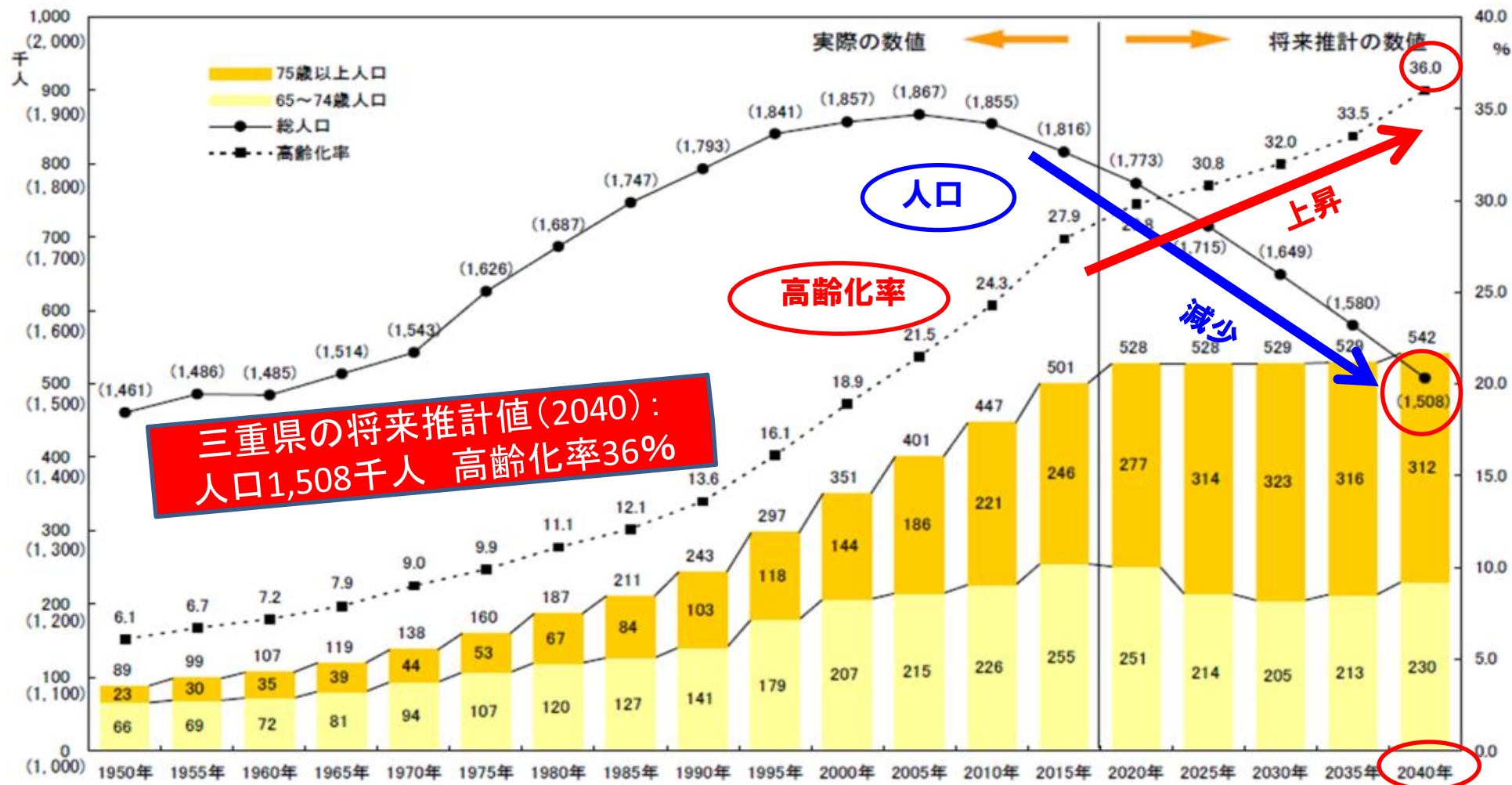
三重県知事 鈴木 英敬

令和2年2月26日

「自動運転シンポジウム in 桑名」



現 状 <三重県の高齢化と人口減少>



[出典] 2015年以前は総務省統計局「国勢調査」、2020年以後は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」

高齢化＋人口減少が今後も進行

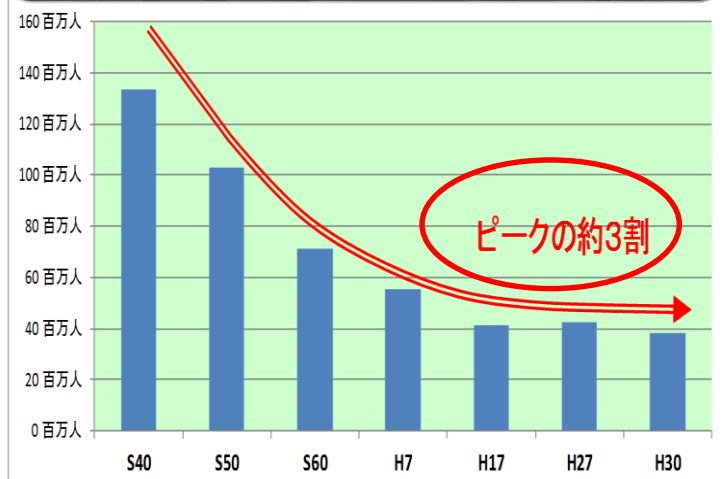
運転士不足も慢性的課題に。

止まらない“負のスパイラル”

(利用者の減、減便・縮小、さらなる利用者減、運行コスト増、、、)



三重交通路線バス輸送人員の推移



※コミュニティバス・高速バス等を含む

【三重交通（株）提供資料】

現行水準の維持も厳しく、新たな路線の確保や拡充はなお困難な状況となっている！

現 状 <運転免許返納後の移動手段の不足>

私が直接、お聞きした県民の皆さんの声

免許は返したいけど、今後の移動の足が不安です…。



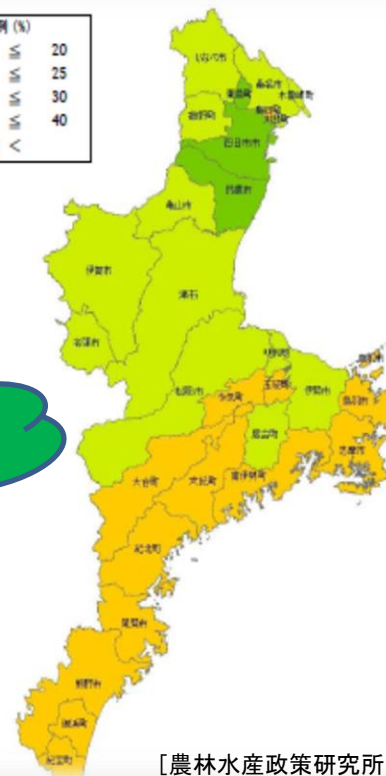
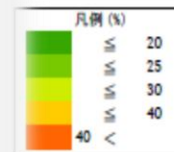
バス停まで歩くのが遠くてツライ…。



【高齢者の運転免許 取消・返納】

	三重県 返納者数	三重県 順位
H21	186	40
H22	177	45
H23	397	44
H24	803	45
H25	1,066	44
H26	1,520	...
H27	2,058	47
H28	3,048	46
H29	6,203	25
H30	5,950	30

〔三重県警察「三重の交通統計」より〕



〔農林水産政策研究所
「食料品アクセスマップ」より〕

食料品アクセス困難人口割合 (2015)

- 21%～25% (3市町)
- 26%～30% (13市町)
- 31%～40% (13市町)

うち県南部11市町

交通施策の中だけでの対応に限界！

主な課題と課題解決に向けた取組方向

主な課題

バス・鉄道などの公共交通
の維持・活性化

交通不便地域等における高
齢者等の移動手段の確保

バス運転士不足への対応

MaaSや自動運転技術など
への対応

公共交通に対する理解と利
用促進

円滑で持続可能な
移動手段の確保

課題解決に向けた取組方向

- 交通分野と福祉分野等が連携
した最適な移動手段の確保
- 次世代モビリティを活用した
既存のバスに代わる新たな
移動手段の検討
- 運転免許返納後の高齢者支援



移動課題
は
重要！



R1.6月補正予算から対策を強化！

交通と福祉の
検討の場づくり

次世代代モビリティ等
取組への支援

高齢者へのモビリティ・
マネジメントの強化

【移動手段の確保に向けた新たな取組】①交通と福祉の連携



市町等担当者(交通・福祉)向け取組

★第1弾《地域公共交通セミナー (R1.9.20)》★

- ① 「三重県における地域包括ケアシステムの構築について」 (三重県長寿介護課 井上課長)
- ② 「交通と福祉の連携の必要性」
(大同大学工学部 樋口講師)
- ③ 「住民主体の移動・外出支援の取組み」
(全国移動サービスネットワーク 河崎副理事長)

★第2弾《グループワーク等研修会 (R2.3.12予定)》★

日頃、課題に感じる点等について、グループワークや講師と参加者全員での意見交換等を通して、理解を深め合い、地域に応じた取組検討に活かす

『今回のような公共交通担当者と福祉担当者が情報共有できる機会を増やしてもらいたいです』

『交通と福祉の連携がとても大切であることを理解しながらもどこから手を付けていけばいいのかわからず、知識、勉強不足であることを痛感しています。』

第1弾 地域公共交通セミナー 参加者アンケートより



まずは連携の場づくり！

【移動手段の確保に向けた新たな取組】 ②次世代モビリティ等の活用

県内多くの市町で実証実験や
研究が行われています



県もこうした取組が県全体に効果が広がるよう、
ともに取り組んでいます。

【移動手段の確保に向けた新たな取組】②次世代モビリティ等の活用

自動運転（桑名市）

自動運転実証実験 R1.6.28～30

- （桑名市と群馬大学との共同研究）
・市役所と桑名駅間の1周約2km（自動運転レベル2）



次世代モビリティ社会実装研究会（R1.11月発足）

- ・実証実験をふまえ、今後の自動運転バス導入に向けた課題検討等を行うため、群馬大、名古屋大、交通事業者、市、県、住民代表等が参画

自動運転等（四日市市）

自動運転導入検討会議（R1.6月設置）

- ・経済界、学識者、交通事業者、市、国、県等が参画。将来的な自動運転の実装を視野に取り組む。

※近鉄四日市駅～JR四日市駅などを想定

四日市市総合計画（2020～2029）



電動キックボード

新しい公共交通の可能性やまちづくりへの活用を検討するため、市イベントで実証実験

（R1.11.24）



【移動手段の確保に向けた新たな取組】②次世代モビリティ等の活用

MaaSの取組(菰野町)

地方郊外・過疎地型

菰野町地域公共交通会議

三重県
(交通政策課、
道路管理者)

菰野町

中部運輸局
三重運輸支局

交通事業者

町民代表

四日市西
警察署

学識経験者

三重交通(株)・(有)尾高
近畿日本鉄道(株)
御在所ロープウェイ(株)
バス協会・タクシー協会

区長(=自治会長)
老人会・PTA・福祉会
障がい者団体・
社会福祉協議会

名古屋大学大学院
環境学研究科

実証実験

R2.1.15~2.29

webシステムによる
のりあいタクシー
AI予約・配車及び経路検索



MaaSの取組(志摩市)

観光地型

★志摩MaaS協議会

志摩市、三重県、(一社)志摩市観光協会、
(公社)伊勢志摩観光コンベンション機構、近鉄
グループホールディングス(株)、近畿日本鉄道(株)
三重交通(株)、志摩マリンレジャー(株)、三重近鉄
タクシー(株)、(株)近鉄・都ホテルズ、名古屋大学

★志摩MaaSに係る連携協定

志摩市と近鉄グループホールディングス(株)が締結。

実証実験

第1期 R1.10.1~11.30

第2期 R2.1.9~3.31

第2期から専用MaaSアプリ
「ぶらりすと」リリース！



国土交通省「新モビリティサービス推進事業」先行モデル事業に県内から2事業採択！

【移動手段の確保に向けた新たな取組】②次世代モビリティ等の活用

グリーンスローモビリティ(東員町)



**H30年度:グリーンスローモビリティの活用
検討実証調査地域 [国土交通省]**

高齢化が進む住宅団地で共助による
モビリティサービスの実現

住宅団地内の中心に位置するスーパーへの
買い物移動と近くのコミュニティバス停留所までの移動を
デマンド型交通で実施 (H30.11.27~12.9)



オンデマンド運送(紀北町)

**H30年度:シェアリングエコノミー活用推進事業[総務省]
[地域課題:高齢化に伴う公共交通の衰退]**

地域で**自家用車**を所有する住民がその車を使って、地域の移動手段のない
住民を、**ドア・ツー・ドア**で目的地まで移送する方式で実施。



R1年度:新交通システム実証事業(R2.2.17~8.16)

昨年度の取組成果や課題も活かしながら、移動手段の確保と交通空白地の
解消を目的に「市町村運営自家用有償運送」による新たな運送システム
の実証事業に取り組む【**町単独事業**】

さらに！

「空飛ぶクルマ」実証実験にも取り組んでいます

【国】

2019年からの試験飛行・実証実験等の実現、2023年からの事業スタートを掲げている。



【三重県】

交通、観光、防災、生活等の様々な地域課題を解決し、生活の質の維持・向上、新たなビジネス創出を目指す

実証実験（例） 物流

物流分野での無人航空機の活用を進めるため、法令やインフラ整備等の課題、地域の意見等を調査

【受託者】 楽天株式会社

【内容】

- ① 志摩市・間崎島の住民が商品注文
- ② マックスバリュ鵜方店で商品を用意・梱包
- ③ 隣接する鵜方浜公園からドローンで配送



福島県との連携 令和元年8月

「福島ロボットテストフィールド」を擁する福島県と相互連携に関する協力協定

空飛ぶクルマ 目指せ先進地

福島で研究 三重で実験



実証実験（例） 産業

観光産業等における無人航空機の利活用における課題や、将来的な利活用方法を調査・検討

【受託者】

みえ「空の移動革命」社会実装共同事業体

- ・ 株式会社 J T B 三重支店 **JTB**
- ・ 株式会社 テラ・ラボ **TERRA LABO**

【内容】

- ① 観光資源の上空からの鑑賞等、観光産業での活用可能性やそのための課題の抽出
- ② 離島等への目視外飛行を安全に実施するための検証



熊野市・楯ヶ崎



南伊勢町・田曾浦

令和2年度の取組①「みえ県民カビジョン第三次行動計画」への位置づけ

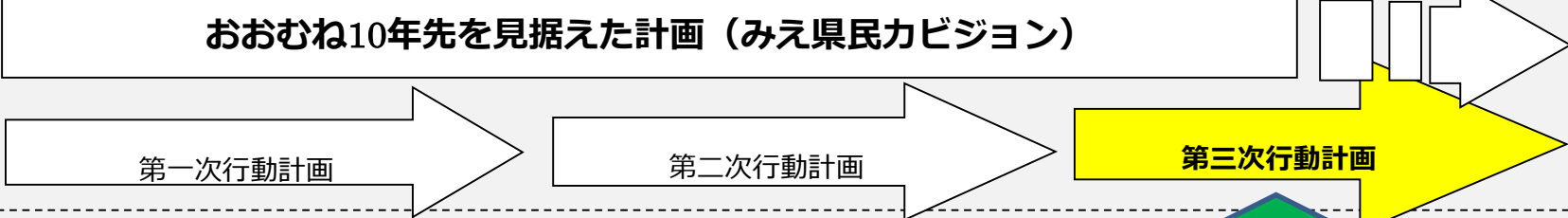
次世代モビリティの導入支援を
「みえ県民カビジョン第三次行動計画」に位置づけました！



新たに

●みえ県民カビジョンと行動計画

2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	------------	------------	------------	------------



施策352：安心を支え未来につなげる公共交通の充実

- 基本事業 1 持続可能な移動手段の確保と次世代モビリティの導入支援
- 基本事業 2 モビリティ・マネジメント力の向上
- 基本事業 3 国内外との交流を生む広域交通網の充実

位置
づけ

【2023年のめざす姿】

誰もが行きたいところへ移動できる社会の実現をめざし、持続可能で地域最適な移動手段の確保や、新技術を活用した次世代モビリティの導入等に、関係機関が連携して取り組み、県民の皆さんや来訪者の安心感や利便性が高まっている。

【第三次行動計画 施策352の「県民の皆さんとめざす姿」より】

令和2年度の取組② 地域モデル事業補助金を創設します！

主な課題

1. 郊外型団地など都市部

運転士不足による路線バスの減便・維持が懸念される

駅やバス停までのラストワンマイルの移動手段がない

2. 交通不便地域

利用できる公共交通(鉄道・バス・タクシー)がない

駅やバス停まで遠い、歩けない

運転免許返
納後の高齢
者支援



移動情報の提供や
バスの乗り方教室等を実施

課題を解決するための取組をモデル事業として支援

○次世代モビリティ等を活用した取組

例：自動運転バス実証運行、AI配車システムを活用したデマンド交通実証運行、グリーンスローモビリティによるラストワンマイル実証運行 など

○交通分野と福祉分野等が連携した取組

例：介護保険訪問型サービスDを活用した住民輸送、デイサービス送迎車を活用した住民輸送、福祉タクシー事業者と連携した取組 など

【主な補助対象経費】

実証実験車両の運行費用、
AI配車システム導入・運行費用など
(予算の範囲内で補助対象経費の1/2補助)

高齢者をはじめとする県民や
来訪者の移動手段確保

モデル事業の成果や課題
は県内各地域に横展開

令和2年度の取組③ 県民参加型予算（みんつく予算）を活用した新たな取組！

これからの移動手段チャレンジ事業【新規】

新たな高齢者向けモビリティ・マネジメントの取組として、次世代モビリティを活用した移動手段に関するセミナーの開催や試乗会など新たな視点での高齢者向けモビリティ・マネジメント事業を実施します



本事業に寄せられたご意見の一部（50件も頂戴しました）

- ・今の公共交通網では、行きたい所にたどり着く事ができなかったり、時間がとてもかかる。利用する人が少ないから 便が少なくなり、便が少なく利用しにくいから、乗らない。そこを改良し、県、市、事業所が協力して、公共交通網を充実することで、助かる人が沢山いると思う。
- ・免許を返納した後、引きこもりがちになり、認知症や介護に繋がるケースも多い。独居老人の孤独死にも繋がる。移動できる手段を、なんとかして構築してほしい。

最終候補20件中、第5位で予算案計上決定！

みんつく予算

（みんなであつろか みえの予算）

三重県庁が2020年度予算編成から導入した県民参加型の新しい取組。

～1989年にブラジルで始まり、フランスのパリ市など欧米に広まった住民参加の仕組み～

・日本では、東京都庁が2018年度予算編成から導入。

・今年、三重県は東京都を上回る6,505票という多くの投票をいただきました！

三重県は、2020年度新予算編成から県民参加型の「みんつく予算」を実施しています。

投票しよう！みんつく予算 総選挙開始！！

投票期間：2019年12月7日（土）から2020年1月6日（月）まで
投票資格：三重県内にお住まいの満18歳以上の方 投票回数：お一人あたり1回限り3事業まで投票可能です。

みんつく予算 2020

みなさんからの事業アイデアをもとに30の事業を作り上げました。これらの事業について、上の事業を実施してほしいの「賛成」と「ご意見募集」を期間中、その結果を公表します。

2020年度に実施する事業を選びます。たくさんのお票をお待ちしています！！

投票方法：① 投票用紙を郵送 ② 投票用紙を郵送 ③ 投票用紙を郵送

【ハガキ・メールでの投票の場合】
(1) お名前 (2) ご住所・年齢 (3) お選びいただいた事業番号（複数より3事業まで）
(4) それぞれの事業についてのコメント（任意）
以上をお書きいただき下記送付先までハガキもしくはメールにてお送りください。

三重県 総務部財政課 予算班 〒514-8570 津市広町町13 メール: zaisei@pref.mie.jp

【お問い合わせ】
三重県 総務部財政課 予算班 tel 059-224-2216 fax 059-224-2125 メール: zaisei@pref.mie.jp
※ 個人情報については、三重県個人情報保護条例に基づいて三重県事務の目的以外に開示・提供・利用をいたしません。
※ 投票用紙の提出期限は、2020年1月6日（月）正午です。この期限を過ぎた場合は、投票用紙として扱われません。